CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)藤沢市辻堂元町六丁目計画 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								**3.1**
Q1 室内環境					**0.40**		-	**3.0**
1 音環境				**2.6**	0.15	**2.8**	1.00	**2.7**
1.1 室内騒音レベル				**3.0**	0.40	**3.0**	0.40	
1.2 遮音				**3.0**	0.40	**3.6**	0.40	
	1	開口部遮音性能	住居部:遮音性能等級T-2以上の建具を採用	3.0	0.40	5.0	0.30	
	2	界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30	
	3	界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				**1.0**	0.20	**1.0**	0.20	
2 温熱環境				**3.0**	0.35	**3.0**	1.00	**3.0**
2.1 室温制御				**3.0**	0.50	**3.0**	0.50	
	1	室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
	2	外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	
	3	ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				**3.0**	0.20	**3.0**	0.20	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境				**2.4**	0.25	**3.3**	1.00	**2.9**
3.1 昼光利用				**3.0**	0.30	**3.0**	0.30	
	1	昼光率		3.0	0.60	3.0	0.60	
	2	方位別開口		-	-	-	-	
	3	昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				**1.0**	0.30	**4.0**	0.30	
	1	昼光制御	住居部:カーテン+庇(バルコニー)にて昼光制御	1.0	1.00	**4.0**	1.00	
3.3 照度				**3.0**	0.15	**3.0**	0.15	
3.4 照明制御				**3.0**	0.25	**3.0**	0.25	
4 空気質環境				**3.5**	0.25	**3.6**	1.00	**3.5**
4.1 発生源対策				**4.0**	0.50	**4.0**	0.63	
	1	化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気				**3.0**	0.30	**3.0**	0.38	
	1	換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
	2	自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
	3	取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				**3.0**	0.20	-	-	
	1	CO_2の監視		-	-	-	-	
	2	喫煙の制御		3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				–	**0.30**	-	-	**2.9**
1 機能性				**2.4**	0.40	**3.8**	1.00	**3.2**
1.1 機能性・使いやすさ				**3.0**	0.40	**5.0**	0.60	
	1	広さ・収納性	個室10㎡/床以上	-	-	5.0	1.00	
	2	高度情報通信設備対応		-	-	-	-	
	3	バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				**1.0**	0.30	**2.0**	0.40	
	1	広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
	2	リフレッシュスペース		-	-	-	-	
	3	内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				**3.0**	0.30	-	-	
	1	維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
	2	維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				**3.1**	0.30	-	-	**3.1**
2.1 耐震・免震・制震・制振				**3.0**	0.50	-	-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
	2	免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				**3.4**	0.30	-	-	
	1	躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3相当	5.0	0.20	-	-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				**3.0**	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	自家発電設備、UPSの設置、地下階への設置なし	4.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性				2.6	0.30	2.4	1.00	2.4
3.1 空間のゆとり				1.8	0.30	1.8	0.50	
	1	階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境（敷地内）				–	0.30	-	-	3.3
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			近隣とのコミュニケーションエリアを計画、中庭の設置　等	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			空地率64%、水平投影面積率23%　等	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	3.6
LR1 エネルギー				–	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPIm=0.82	4.8	0.20	-	-	4.8
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEIm =0.69 、LED照明の採	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用				2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価				2.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				–	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護				2.6	0.20	-	-	2.6
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.7	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用	4.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			–	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			ビニル系床材（トイレ床）	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体と仕上材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			有害物質を含まない建築種別が1つ	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤（断熱材等）	A種（ノンフロン）断熱材を採用	4.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				–	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率74%	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	駐輪場(バイク置場含む)、駐車場及び管理用車両の駐車施設を確保	5.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		-	-	-		
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストの一部を満足、広告物照明なし	4.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光（グレア）への対策		3.0	0.30	-	-	